

本丸EXv3初期設定手順

(法定福利費・複合単価)

本丸EXv3をご利用中のお客様のみ、
②こうじやさんv3自動アップデート手順(Ver3.0.261.X を使用の場合)の作業終了後、
こちらの手順書に従って設定作業を行ってください。

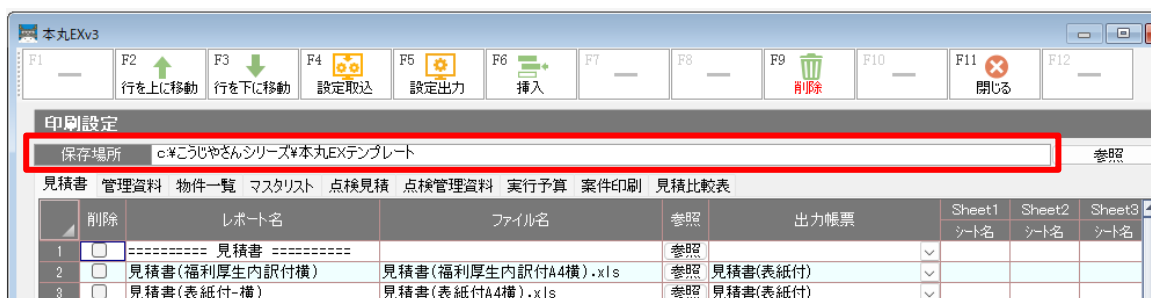
1. テンプレートファイルの上書きと印刷設定を行う。

●対象ファイル

- ①法定福利費明細表.xls ……従来のテンプレートの置換え
- ②見積書(福利厚生内訳付A4横).xls ……新規追加帳票
- ③実行予算書(複合単価計算書B4).xls ……従来のテンプレートの置換え

①と③のテンプレートは置換えとなりますので、最初に手動で削除してください。

[システム設定]メニューより[印刷設定画面]を開き、「保存場所」に設定されているフォルダを開き、①と③のxlsファイルを削除します。



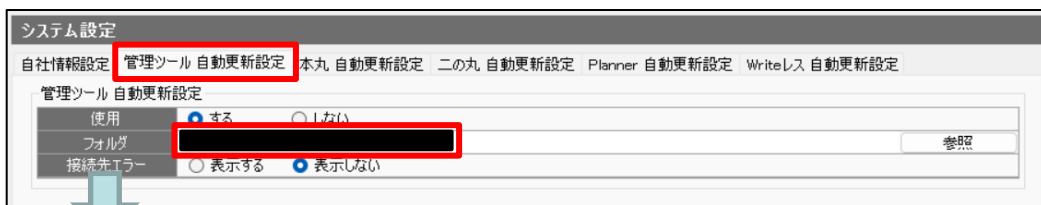
続けて「こうじやさん管理ツール」を起動し、次ページの手順で「印刷設定追加ツール」を実行すると①②③のテンプレート（xlsファイル）の追加と、印刷設定に②の追加テンプレートが設定されます。

- ① こうじやさんv3自動アップデート手順書で更新ファイルのダウンロード後、自動更新で設定したフォルダから「#印刷設定追加ツール」を開きます。

1. こうじやさん管理ツールを起動してシステム設定ボタンをクリックします。



2. 管理ツール 自動更新設定タブを表示し、ダウンロードしたフォルダを確認して開きます。



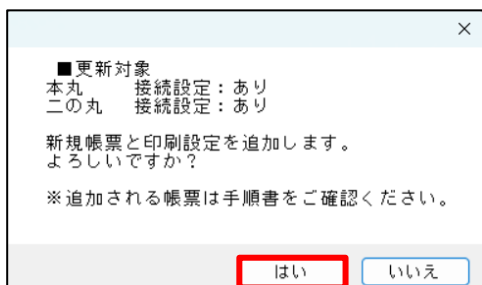
📁 #印刷設定追加ツール

- ② #印刷設定追加ツールの中に「印刷設定追加ツール.exe」があるのでダブルクリックします。

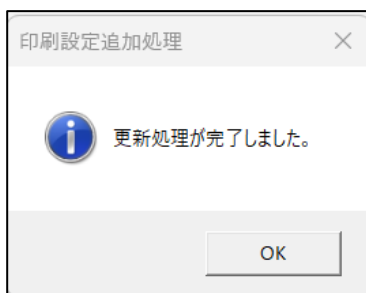
📁 template

📄 印刷設定追加ツール.exe

- ③ メッセージが表示されるので「はい」を選択します。



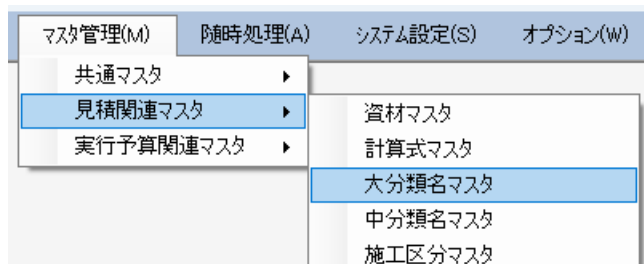
- ④ 「更新が完了しました」のメッセージが表示されれば処理終了です。



2. 大分類マスタにおける労務区分の設定を行う。

大分類マスタで、法定福利費の算出対象となる区分を設定します。

[マスタ管理]メニューより[見積関連マスタ]-[大分類名マスタ]を実行します。



The screenshot shows the 'Large Classification Name Master Maintenance' (大分類名マスタ メンテナンス) screen. It contains a table with columns for 'Large Classification Code' (大分類コード), 'Large Classification Name' (大分類名称), and 'Division' (区分). The table lists 12 items, with the first item (01) being 'Electricity (A Material)' (電気(A材)) and the last item (90) being 'Expense' (経費). The 'Division' column shows 'Material' (材料) for items 01-50 and 'Labor' (労務) for items 60-80, and 'Expense' (経費) for item 90.

	大分類コード	大分類名称	区分
1	01	電気(A材)	材料
2	02	電気(B材)	材料
3	31	管(機器)	材料
4	32	管(部材)	材料
5	41	防災(機器)	材料
6	42	防災(部材)	材料
7	49	非課税部材	材料
8	50	雑材料	材料
9	60	労務費	労務
10	70	外注費	労務
11	80	その他	労務
12	90	経費	経費

The screenshot shows the 'Division' (区分) dialog box. It has a table with a single column 'Name' (名称). The table lists three items: 'Material' (材料), 'Labor' (労務), and 'Expense' (経費). The 'Labor' (労務) item is selected.

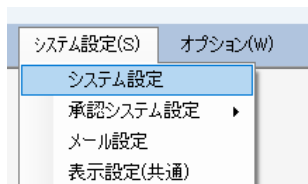
	名称
1	材料
2	労務
3	経費

大分類マスタに「区分」を設定しなければ、法定福利費画面の労務金額が表示されません。

3. システム設定の「法定福利費設定」による設定を行う。

法定福利費等の金額算出の端数調整を設定します。

[システム設定]メニューより[システム設定]を実行します。



[法定福利設定]タブを開きます。

システム設定

基本設定環境設定物価単価設定複合単価設定対象分類設定特殊ルーチンシステム自動更新設定アプリ設定占せ見積設定実行予算設定承認設定ITES設定Smart連携設定見積明細資料マスク更新見積明細設定受注処理設定帳票メール送信設定モバイル設定法定福利設定丸め設定

経費

	項目	計算式	調整桁	調整方法
1	割合設定	労務金額×割合 材料金額×割合 経費金額×割合	百位	切り上げ
2	建退共掛金	日単価×充当日数	百位	切り上げ
3	安全衛生経費	労務費×安全衛生経費	百位	切り上げ

法定福利費明細

	項目	調整桁	調整方法
1	雇用保険料	百位	切り上げ
2	健康保険料	百位	切り上げ
3	介護保険料	百位	切り上げ
4	厚生年金保険料	百位	切り上げ
5	子ども・子育て拠出金	百位	切り上げ
6	子ども・子育て支援金	百位	切り上げ

① 経費の各「調整桁」「調整方法」を必要に応じて変更します。

※ ただし、建退共掛金は変更不要です。

② 法定福利費明細の各「項目」「調整桁」「調整方法」

※ 最大6項目設定可能です。

4. 法定福利費等設定の初期値の設定変更を行う。

法定福利費等設定画面は、見積物件の総括入力画面から開きます。
何も入力されていない空の工種行にカーソルを置き、[F7 法定福利費]ボタンを押下することで開くことができます。



法定福利費等設定画面

法定福利費等設定

パターン名: サンプル

労務費・材料費・経費割

☐ 直接工事費に対して計算する

	直接工事費(@A)	労務割合(%)(@C)	対象労務費	設計労務単価	工数	材料割合(%)	対象材
1	491,930	67.000	329,594	23,600	13.966	30.000	

☒ 労務費に対して計算する ☒ 金額0を非表示

	労務費分類	金額(@B)	労務割合(%)	対象労務費	労務区分	労務名称	設計労務単価
1	木造工事	42,600	100.000	42,600			0
2	保温工事(給水管)	103,000	100.000	103,000			0
3	塗装工事	20,000	100.000	20,000			0
4	防錆工事	25,000	100.000	25,000			0

法定福利費等設定画面を初回に開くときはサンプル値で表示されます。
次頁以降で説明する各項目の初期値を変更して、パターン登録してご利用ください。

本丸EXv3

F1 参照 F2 パターン参照 F9 初期設定 F11 開 F12 実行

法定福利費等設定

パターン名: サンプル

労務費・材料費・経費割

法定福利費パターン一覧 参照

	パターン名称	備考	分類
1	サンプル		

パターン登録は「パターン名」を入力し、[F2パターン参照]を押下して開く「法定福利費パターン一覧」で登録・更新が行えます。

①「直接工事費から算出」を使用する場合の設定

	直接工事費(@A)	労務割合(%)(@C)	対象労務費	設計労務単価	工数
1	681,880	30.000	205,000	23,600	8.686

	材料割合(%)	対象材料費	経費割合(%)	対象経費
	60.000	410,000	10.000	66,880

設定項目：

- ・労務割合
- ・設計労務単価
- ・材料割合

※経費割合は自動算出

②「労務費から算出」を使用する場合の設定

● 労務費に対して計算する ☐ 金額0を非表示

	労務費分類	金額(@B)	労務割合(%)	対象労務費	労務区分	労務名称	設計労務単価
1	外注(外注用)	0	100.000	0			0
2	外注工事入力用	0	100.000	0			0
3	自動制御・電気工事	0	100.000	0			0
4	基礎工事	0	100.000	0			0

工数	材料割合(%)	対象材料費	経費割合(%)	対象経費
0.000	0.000	0	0.000	0
0.000	0.000	0	0.000	0
0.000	0.000	0	0.000	0
0.000	0.000	0	0.000	0

設定項目：

- ・労務割合
- ・労務区分
- ・材料割合

※経費割合は自動算出

③法定福利費明細の「料率」の確認

法定福利費明細の「料率」を確認します。
これらの「料率」は初期値のままで使用可能です。

法定福利費明細			
	法定福利費明細	料率(%) (@D)	法定福利費
1	雇用保険料	1.050	6,000
2	健康保険料	4.890	26,000
3	介護保険料	0.810	5,000
4	厚生年金保険料	9.150	47,000
5	子ども・子育て拠出金	0.360	2,000
6	子ども・子育て支援金	0.115	1,000
	合計	16.375	87,000

設定内容を確認してパターン登録を行ってください。

④安全衛生経費積上の初期値を変更

[積上計算]ボタンを押下し、「積上明細」画面を開いて、安全衛生経費積上の初期値を変更します。

安全衛生経費
☒ 積上分を利用

積上計算

F5 標準登録

F9 登録・更新

F11 開じる

安全衛生経費積上明細(積上計上分)

	明細	数量	単価	金額	備考
1	護具保護帽(ヘルメット)		3,000		
2	安全帯・フルハーネス		20,000		
3	安全靴		5,000		
4	保護メガネ		1,500		
5	防じんマスク		300		
6	耳栓・イヤーマフ		1,000		
7	親綱		1,000		
8	親綱支柱		8,000		
9	安全ネット		1,200		
10	カラーコーン		1,000		
11					

編集後に[F5 標準登録]ボタンを押下し、初期値として登録してください。

⑤安全衛生経費の設定

「労務費から算出」または「直接工事費から算出」を使用する場合は、
「1年間の自社で購入・支出した安全衛生経費」と
「1年間の技能者の賃金合計・1年間の売上高」は必ず設定します。

安全衛生経費	
☒ 積上分を利用	積上計算 0
☐ 率計算分を利用	
☒ 労務費から算出	☐ 直接工事費から算出
1年間の自社で購入・支出した安全衛生経費 1,000,000	1年間の自社で購入・支出した安全衛生経費 1,000,000
1年間の技能者の賃金合計 50,000,000	1年間の売上高 200,000,000
安全衛生経費率(%) 2.000	安全衛生経費率(%) 0.500

「労務費から算出」する場合

設定項目：

- ・1年間の自社で購入・支出した安全衛生経費
- ・1年間の技能者の賃金合計

「直接工事費から算出」する場合

設定項目：

- ・1年間の自社で購入・支出した安全衛生経費
- ・1年間の売上高

初期値として登録されている金額はあくまでサンプルです。
安全衛生経費は初期の金額を設定しなければ、正しい金額が算出されません。
初期の金額を必ず設定してください。

⑥見積書・総括表への記載内容の設定

見積書の総括表へ登録する内容を設定します。

☒ 見積額とは別途計上する ☐ 見積額に含める ☒ 工種名のみセットする(金額欄へ金額をセットしない)		☒ 法定福利費の明細を印刷する ☒ 明細に料率を追記する ☐ 原価を発生させる		割合	0.000
☒ 表示	現場管理費	現場管理費			
☒ 表示	法定福利費	法定福利費[@F]円 事業主負担率[@D]%			
☒ 表示	建退共掛金	建退共掛金[@G]円			
☒ 表示	安全衛生経費	安全衛生経費[@H]円			

⑦見積書・表紙へ法定福利費を記載する場合の設定

見積書の表紙へ法定福利費を記載する場合は、
表紙入力画面から「法定福利費等設定」画面を開いて設定します。
※総括入力画面から開く画面では設定できません。

F6	F7	F8	F9
—	法定福利費	—	開じる

— 見積書・総括表への記載 —

備考1	事業主負担率[@D]に対し、法定福利費は[@F]円です。
備考2	建退共掛け金は[@G]です。
備考3	安全衛生経費は[@H]です。
備考4	
備考5	

※備考は上書きされます

5. 複合単価法改正対応で見積作成前の必要な設定

① 複合単価設定

[システム設定]メニューから[システム設定]画面を開き、[複合単価設定]タブを開きます。

F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	F11
参照	—	—	—	—	—	—	—	—	—	開く

システム設定

Smart連携設定 見積明細資料マスタ更新 見積明細設定 受注処理設定 帳票メール送信設定 法定福利設定
基本設定 環境設定 物価単価設定 **複合単価設定** 対象分類設定 特殊ルーチン システム自動更新設定 アプリ設定 点検見積設定 実行予算設

標準マスタ

	計算項目	計算式内訳	中分類	端数調整桁	端数調整方法
材料費計	☒ 材料単価	素材単価×施工率6(補給率)		小数点以下第2位	四捨五入
	☒ 付属品・継手単価	素材単価×施工率2(付属品/継手率)	101	小数点以下第2位	四捨五入
	☒ 接合材単価	素材単価×施工率3(接合材率)	611	小数点以下第2位	四捨五入
	☒ 支持金物単価	素材単価×施工率4(支持金物率)	611	小数点以下第2位	四捨五入
	☒ その他付属品単価1	素材単価×施工率8	611	小数点以下第2位	四捨五入
	☒ その他付属品単価2	素材単価×施工率9	611	小数点以下第2位	四捨五入
雑材費計	☒ 雑材消耗品	材料費×施工率7(雑材率)	A10	小数点以下第2位	四捨五入
労務費計	☒ 労務費1	歩掛1の労務単価×歩掛1	X89	小数点以下第2位	四捨五入
	☒ 労務費2	歩掛2の労務単価×歩掛2	X89	小数点以下第2位	四捨五入
	☒ 労務費3	歩掛3の労務単価×歩掛3	X89	小数点以下第2位	四捨五入
	☒ はつり補修費	労務費1×施工率5(はつり補修費)	X93	小数点以下第2位	四捨五入
諸経費	☒ 諸経費1	労務費×諸経費割合(労)	VR1	小数点以下第2位	四捨五入
	☒ 諸経費2	労務費以外×諸経費割合(労以外)	VR1	小数点以下第2位	四捨五入
計(複合単価) = 材料費計 + 雑材費計 + 労務費計 + 諸経費計			原価	小数点以下第1位	四捨五入
			見積	小数点以下第1位	四捨五入

☐ 複合単価を明細の計算式の計算対象にする

空白になっているので、中分類コードを入力してください。

②見積入力初期設定

[システム設定]メニューから[システム設定]画面を開き、[複合単価設定]タブを開きます。

見積物件の表紙・総括・明細入力画面のいずれからも開くことができます。
各画面の上部にある「初期設定」ボタンを押下することで開くことができます。

 「初期設定」ボタン

F1  パターン参照 F2 — F3 — F4 — F5 — F6 — F7 — F8  詳細初期化 F9 — F10 — F11  閉じる F12 —

見積入力初期設定

基本設定 その他設定 ユーザ設定

パターン名称	標準
備考	見積単価12,000 原価10,000
分類	

区分	労務名称	労務原価	労務売価
001	電 工	10,000	12,000
002	弱電気	10,000	12,000
003	機械工	10,000	12,000
004	ダクト工	10,000	12,000
005	配管工	10,000	12,000
006	特殊作業員	10,000	12,000
007	土 工	10,000	12,000

労務追加
労務削除

コード	中分類 名称	基準単価		定価		拾い数量		歩掛調整率	雑材率	諸経費割合(労)	諸経費割合(労以外)
		原価率	見積率	原価率	見積率	原価率	見積率				
	基本	100	120	60	80	100	100	100	3.0	47.0	11.0
	電気(A材)										
105	多条電線管類	100	120	60	80	100	100	100	3.0	47.0	11.0
111	フルボックス特注品類	100	120	60	80	100	100	100	3.0	47.0	11.0
115	ケーブルラック類	100	120							47.0	11.0
120	2種金属線ぴ類	100	120							47.0	11.0
126	ダクト類	100	120							47.0	11.0
133	アルミ合金製ダクト	100	120							47.0	11.0
153	バスダクト	100	120							47.0	11.0
154	電送材	100	120	60	80	100	100	100	3.0	47.0	11.0
155	ファトライン	100	120	60	80	100	100	100	3.0	47.0	11.0
158	防爆用資材類	100	120	60	80	100	100	100	3.0	47.0	11.0
161	幹線分岐ケーブル	100	120	60	80	100	100	100	3.0	47.0	11.0
201	中央監視盤	100	120	60	80	100	100	100	3.0	47.0	11.0
203	直流電源装置類	100	120	60	80	100	100	100	3.0	47.0	11.0
205	自家発電機	100	120	60	80	100	100	100	3.0	47.0	11.0

変更後の率を入力してください。

参考：

- ・諸経費割合(労)：42～52%
- ・諸経費割合(労以外)：9～13%

③見積明細の分類変更設定を利用されている場合の設定

[システム設定]メニューから[システム設定]画面を開き、[見積明細設定]タブを開きます。

システム設定

基本設定 環境設定 物価単価設定 複合単価設定 対象分類設定 特殊ルーチン システム自動更新設定 アプリ
Smart連携設定 見積明細資材マスター更新 見積明細設定 受注処理設定 帳票メール送信設定 法定福利設定

分類変更設定

- ☒ 中分類変更時に初期設定の率をセットする
- ☒ 確認画面を表示する

再設定項目 ※チェックを付けた項目は初期設定の率を設定します

[施工あり]

- ☒ 単価掛率

[施工なし]

- ☒ 単価掛率 ☒ 補給率 ☒ 雑材率 ☒ 諸経費割合(労) ☒ 諸経費割合(労以外)

「☐諸経費割合(労以外)」のチェックが外れた状態になっています。
「分類変更設定」をご利用の場合、必要に応じてチェック設定を行ってください。